

学位授与番号：甲 1082 号

氏 名：貞岡 亜加里

学位の種類：博士（医学）

学位授与日付：平成 30 年 9 月 12 日

学位論文名：

Usefulness of the Psoriatic Arthritis Magnetic Resonance Imaging Scoring System for Hands (PsAMRIS-H) in evaluation of therapeutic effect of biological agents in patients with psoriatic arthritis.

(生物学的製剤を使用した乾癬性関節炎患者の治療効果判定における PsAMRIS-H の有用性)

学位論文審査委員長：教授 黒坂大太郎

学位論文審査委員：教授 岡部正隆 教授 朝比奈昭彦

論文要旨

氏名	貞岡 亜加里	指導教授名	尾尻 博也
主論文			
Usefulness of the Psoriatic Arthritis Magnetic Resonance Imaging Scoring System for Hands in evaluation of therapeutic effect of biological agents in patients with psoriatic arthritis (生物学的製剤を使用した乾癬性関節炎患者の治療効果判定における PsAMRIS の有用性) Akari SADAOKA, Shinjiro TOJO, Takenori YONENAGA, Kunihiro FUKUDA. Jikeikai Medical Journal. 2017; 64(4):37-44.			
要旨			
【背景・目的】			
乾癬性関節炎(PsA)の重症度評価と治療効果判定に PsAMRIS が提唱されている。しかし、PsA の発生頻度の低い本邦では、日本人 PsA 患者を対象に臨床的評価項目と PsAMRIS の推移を比較検討した研究報告は検索し得た範囲内では認めない。そこで、PsAMRIS と臨床的重症度 (PASI score と血清 CRP 値) の推移を比較することにより、PsAMRIS の有用性を検討することが本研究の目的である。			
【方法】			
対象は東京慈恵会医科大学付属病院で生物学的製剤により治療を受けた手病変を有する日本人 PsA 患者 10 症例 (男性 8 名、女性 2 名、平均年齢 52.3 歳) である。治療前と治療 1~12 か月後に手の造影 MRI と臨床的重症度の評価を行った。MR 画像は放射線診断専門医 2 名が独立して読影、PsAMRIS によるスコアリングを行い、臨床的重症度の推移と比較検討した。また、PsAMRIS の各項目の読影者間信頼度および読影者内信頼度は κ 値を測定して検討した。			
【結果】			
治療後、PsAMRIS の total score は 1 例を除いて全ての症例で低下した。読影者内信頼度、読影者間信頼度は骨びらんの κ 値が低かったが、その他の項目では moderate~substantial と良好な結果であった。臨床的重症度は全ての症例で低下していた。			
【結論】			
全ての症例において PsAMRIS の total score の低下が認められ、また臨床的重症度の推移と相関しており、手病変を有する日本人 PsA 患者での生物学的製剤による治療効果判定に PsAMRIS が有用であることが確認された。			

学位論文審査結果の要旨

平成 30 年 5 月 10 日に岡部正隆、朝比奈昭彦両審査委員出席のもと、公開学位審査が開催された。貞岡氏による研究概要の発表に続いて口頭審査を実施した。質疑は以下の点を中心になされた。

- 1.手病変に限局して解析した理由
- 2.先行論文と比較して、本論文の新たな臨床的意義
- 3.PsAMRIS-H の各項目間におけるデータの解離について

それぞれに対し活発に議論がなされた。

審査後に論文要旨および Thesis の修正を指示した。修正したものを岡部、朝比奈両教授と再度、慎重に審議した。本論文は、日本人乾癬患者において PsAMRIS-H の有用性を確認した点において、学位を授与するに価値があると認めた。